

技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業  
(研修・専門家派遣事業)

2022年10月

## 募集要項

企業経営研修コース  
- 日本企業の経営精神から学ぶ -

**The Program on Corporate Management**  
**- Learning from Ethos of Japanese Corporate Management -**  
**[PJCM]**

2023年2月15日～3月2日

## 1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

「企業経営研修コース(PJCM) -日本企業の経営精神から学ぶ-」は、経営者・経営幹部、組織運営に責任を持つ上級管理者を対象とし、日本の優れた企業において特徴的な経営管理手法やその根底にある考え方を学び、自社の経営にどの様に適用するか検討することで、経営者としての能力向上を目指す研修コースです。

## 2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

## 3. 参加者の人数：

18 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、開発途上国企業における経営者・経営幹部、組織運営に責任を持つ上級管理者等。
  - (2) 原則として、年齢は 20 歳以上の方
  - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
  - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
  - (5) 心身健康な方
  - (6) 開発途上国または地域に居住の方
  - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
  - (8) 過去に低炭素技術を輸出するための人材育成支援事業及び技術協力活用型・新興市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- \* 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。

- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

### （日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を 2022 年 12 月 2 日（金）までに、AOTS 研修・派遣業務グループ（14. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。（14. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

### （海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関（「14. お問い合わせ」ご参照）を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、2022 年 12 月 2 日（金）までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 事業統括部（14. お問い合わせご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

- (4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

- (7) AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約書 ※PDF

※上記(1)(3)、(4)～(7)の書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。

- (8) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (9) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

- (10) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (11) 事前研修レポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 事業統括部（14. お問い合わせご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2022 年 12 月 22 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で 18 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

## 6. 研修コースの概要：

### ■ 目的

日本の優れた企業において特徴的に見られる長期的展望に基づいた経営方針、経営者の現場重視の姿勢、従業員のコミットを引き出す経営理念の浸透や各種の経営手法などに理解を深めることを目的に実施します。また、日本の経営の考え方や手法を自社の企業経営と融合した経営の可能性を検討することで、経営者としての資質と能力の向上を目指します。

### ■ 期待される効果

- (1) 自国に一般的な経営手法と日本的経営の類似点、相違点、それぞれの長所、短所を理解できます。
- (2) 5S や清掃活動が従業員に与える影響と企業経営における意義を理解できます。
- (3) アメーバ経営をどのように導入、推進、維持していくか概要を理解できます。
- (4) 日本の長寿ファミリービジネス企業において、人材育成と技能の継承がどのように行われているか理解できます。
- (5) 日本の経営手法をどのように自社の経営環境、組織文化などに融合し取り入れるか考察し、具体的な行動計画を策定することができます。

### ■ 期間

2023年2月15日(水)～3月2日(木)(16日間)

### ■ 内容

上記コンセプトに基づき、本コースでは下記の内容について学びます。

- (1) 企業経営における3つの精神（市民精神[Citizenship]、企業精神[Entrepreneurship]、営利精神[Utilitarian mind]）について理解を深め、従来日本企業がどのようにこの3つの精神をバランスさせてきたか学ぶことによって、日本企業に特徴的にみられる経営に対する基本姿勢やあり方について理解します。
- (2) 5S、アメーバ経営（\*）等、日本企業が取り組み、成果を収めてきた現場重視の経営手法について、その背景にある考え方や実践方法について企業見学や演習、ディスカッションなどを通じて理解を深めます。
- (3) 日本には創業100年以上を超える長寿企業が3万社以上ありますが、そのほとんどがファミリービジネスです。日本のファミリービジネスで取り組まれている企業を永続させるための努力と工夫について学び、自社の経営にどう生かしていくかを考察します。
- (4) 研修コースで学んだことを参加者が自社の企業経営にどのように活用するか、帰国後のアクションプランをまとめ、最終日に発表します。

\* アメーバ経営…京セラの創業者である稲盛和夫氏が、同社の経営理念を実現するために創り出した独自の経営管理手法。現在では、稲盛氏が関わった企業を初めとして、約600社の日本企業に導入されている。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。  
日程表（予定）をご覧ください。

### ■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

### ■ コースディレクター

加護野 忠男 氏  
神戸大学名誉教授

神戸大学経営学部助手、講師、助教授を経て、1988年神戸大学経営学部教授、1998年神戸大学経営学部長・

大学院経営学研究科長、1999年神戸大学大学院経営学研究科教授として教鞭を取る。2011年より甲南大学特別教授を務める。1979年から80年、ハーバードビジネススクール留学。NTN社外監査役、参天製薬社外監査役、住友ゴム工業社外監査役、ファミリア社外取締役等を歴任。また、組織学会会長、企業家研究フォーラム副会長、日本経営学会理事、日本ベンチャー学会理事、ファミリービジネス学会理事等を歴任。経営学博士。

主要著書：『経営組織の環境適応』（1980年）、『日本企業の多角化戦略』（共著、1981年、日経・経済図書文化賞受賞）、『日米企業の経営比較』（共著、1983年、組織学会賞受賞）、『組織認識論』（1988年）、『事業システム戦略』（共著、2004年）、『経営の精神』（2010年）、『経営はだれのものか』（2014年）、『日本の企業家2 松下幸之助 理念を語り続けた戦略的経営者』（2016年）など。

副コースディレクター

曾根 秀一 氏

静岡文化芸術大学文化政策学部教授

大阪経済大学経営学部専任講師、カナダ・メモリアル大学客員研究員、帝塚山大学経営学部専任講師、静岡文化芸術大学文化政策学部准教授等を経て2022年より現職。現在、ファミリービジネス学会常任理事、企業家研究フォーラム幹事。博士（経営学）。

主要著書：『1からの経営学』（共著、2013年）、『日本のファミリービジネス』（編著、2016年）、『老舗企業の存続メカニズム』（2019年、商工総合研究所 中小企業研究奨励賞本賞受賞、ファミリービジネス学会賞受賞、企業家研究フォーラム賞受賞など）、『ドイツ企業の統治と経営』（共著、2021年）、“Theory and History in Regional Perspective”（共著、2022年）など。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター（KKC）<http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5

電話：06-6608-8260（受付） ファックス：06-6690-2678

## 企業経営研修コース[PJCM] 日程 -日本企業の経営精神から学ぶ-

2023年2月15日～3月2日

AOTS 関西研修センター (予定)

月/日	午 前	午 後
2月14日 (火)	(来日) 抗原定性検査キットによる受検と結果報告 ※受検の義務については、研修申込書内「AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約書」を参照	
2月15日 (水)	オリエンテーション／ 開講式 講義：日本的経営の精神 -企業経営の3つの精神、①市民精神、②企業精神、③営利精神	講義：参加者によるディスカッションと発表 -経営課題と研修目的の共有化
2月16日 (木)	講義：日本の企業家精神 -アメリカ企業と比較した日本的経営の特徴	見学：日本の企業家精神事例
2月17日 (金)	見学：3S と経営	講義：5S (掃除) の習慣化と経営 -企業経営における5S (掃除) の意義と効用
2月18日 (土)	休日	
2月19日 (日)	休日	
2月20日 (月)	講義(遠隔研修)：海外企業の5S 導入事例 -海外企業の導入事例、日本以外の企業で5S を導入する際の難しさや課題	講義：5S 自社導入計画づくり (演習) -グループの中で5S を導入している企業をモデル企業としたテーマ討論
2月21日 (火)	講義：技能継承とファミリービジネス -ファミリービジネスの企業存続と成長への取り組み、技能継承の仕組み	見学：ファミリービジネスの経営理念事例
2月22日 (水)	(遠隔地) 企業等 見学	見学：経営の精神事例
2月23日 (木)		見学：日本の産業技術発展史
2月24日 (金)	講義：日本企業の企業間連携戦略1 -日本的経営手法導入時の企業文化のすり合わせ	
2月25日 (土)	休日	
2月26日 (日)	休日	
2月27日 (月)	講義：日本企業の企業間連携戦略2 -日本の管理手法の特徴と融合時の施策について	
2月28日 (火)	講義：アメーバ経営の考え方と特徴 -アメーバ経営の基本的な考え方 -導入することによる効果と変化	見学：アメーバ経営導入事例
3月1日 (水)	講義：アメーバ経営の仕組み -アメーバ経営による管理会計の仕組み	講義：アメーバ経営・演習 -アメーバ経営を導入するためのポイントについてのディスカッション
3月2日 (木)	最終レポート発表	最終レポート発表／修了式
3月3日 (金)	(帰国)	

## 注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

**7. 到着日及び出発日について：**

参加者は、原則として研修開始日の前日に日本に到着し、研修終了日の翌日に日本を出発することとします。前日に、AOTS 研修センター入館時に配布される抗原定性検査キットを用いて自身で受検し、結果をAOTS に報告してください。

※受検の義務については、研修申込書内「AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約書」を参照下さい。

**8. 経費：**

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

**【試算例 1】中堅・中小企業の場合 補助率 2/3**

2/14来日、3/3帰国(実地研修なし)、関西空港・関西研修センター間移動の場合

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	189,254	[2/3] 126,169	[1/3] 63,085
2. 研修実施費	516,000	348,000	168,000
合計	<b><u>705,254</u></b>	<b><u>474,169</u></b>	<b><u>231,085</u></b>

**【試算例 2】大企業（一般分野）の場合 補助率 1/3**

2/14来日、3/3帰国（実地研修なし）、関西空港・関西研修センター間移動の場合

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	189,254	[1/3] 63,084	[2/3] 126,170
2. 研修実施費	516,000	302,000	214,000
合計	<b><u>705,254</u></b>	<b><u>365,084</u></b>	<b><u>340,170</u></b>

**【試算例 3】大企業（重点分野）の場合 補助率 1/2**

2/14来日、3/3帰国（実地研修なし）、関西空港・関西研修センター間移動の場合

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	189,254	[1/2] 94,627	[1/2] 94,627
2. 研修実施費	516,000	318,000	198,000
合計	<b><u>705,254</u></b>	<b><u>412,627</u></b>	<b><u>292,627</u></b>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（成田空港・東京研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代、コース開始前日の抗原定性検査代）が含まれます。

※渡航費は補助対象外となります。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS 研修・派遣業務部 研修業務

グループ（14. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で以下のいずれかに該当するものをいいます。

- (1) 実地研修が、開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの(新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等(サプライチェーンの多元化・強靱化に大きく寄与する案件を含む)
- (2) 海外進出先の対象国・地域がアフリカであるもの

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,600 円/泊
	来日日以外	9,440 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。

その場合、以下の実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 (実地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円/日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円/日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (VISA) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード (ABTC)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し自国を出国した時から、自国に帰国するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救援者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン



済みの同意書を提出してください。

### 1.1. AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約について:

参加者は当協会の研修への参加申し込みに当たり、参加者の来日前及び来日後の滞在期間中において、AOTS が定める遵守すべき防疫事項を確実に行うこと、日本滞在中は新型コロナウイルスに感染しないように必要な対策を行うこと、研修に支障が出ないように最善の注意をすることを誓約する必要があります。参加者は、研修申込書内の同誓約書を確認の上、研修申込時に同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

### 1.2. 日本入国時の検疫措置について:

日本入国時の検疫措置は次の通りです。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/bordercontrol.html>

#### 1) 有効なワクチン接種証明書がある場合

到着時検査、入国後待機とも不要です。

そのほか、入国にあたり質問票に記入する必要があります。

有効と認められるワクチンについては下記のリンクを参照ください。

有効なワクチン接種証明について：<https://www.mhlw.go.jp/content/000997373.pdf>

#### 2) 有効なワクチン接種証明書がない場合

出国前 72 時間以内に検査を受け、医療機関等により発行された陰性の検査証明書を入国時に、検疫所へ提示してください。

そのほか、入国にあたり質問票に記入する必要があります。

有効な検査証明書があれば到着時検査、入国後待機とも不要です。

有効と認められる検査証明書については下記のリンクを参照ください。

出国前検査証明書について：<https://www.mhlw.go.jp/content/000825144.pdf>

#### ※ファストトラックの推奨

検疫手続きを早く進めるため、ファストトラックの利用をお勧めします。

ファストトラックの利用には「MySOS Web」または「MySOS」アプリによる事前登録が必要です。

「MySOS Web」または「MySOS」アプリを利用すると自身の接種証明や検査証明が有効かどうかも判別されるため、ぜひ利用ください。

ファストトラックについて：<https://www.hco.mhlw.go.jp/en/>

### 1.3. 個人情報の取扱いについて:

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: [kojinjoho-cj@aots.jp](mailto:kojinjoho-cj@aots.jp)

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

### 1.4. お問い合わせ:

一般財団法人 海外産業人材育成協会 (AOTS)

<日本国内の法人を通じてのお申込の場合>

企業連携部 研修・派遣業務グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: [kigyo-inquiry-az@aots.jp](mailto:kigyo-inquiry-az@aots.jp)

<海外の法人から直接のお申込の場合>

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8242

E-mail: [shouhei-au@aots.jp](mailto:shouhei-au@aots.jp)

※各国の海外協力機関についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

※本募集要項に書いてある要件は2022年10月11日時点の日本政府の水際対策に基づきます。日本政府の水際対策、療養解除条件の変更により、要件が変わる可能性があります。

PRE-TRAINING REPORT

The Program for Japanese Corporate Management  
[PJCM]

**This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.**

**\*AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Name of your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your company/ organization  (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position  (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Most critical managerial problems you are now facing, indicating their causes from your viewpoint</p>	
<p>8. Possible measures to solve such problems together with limitation factors</p>	
<p>9. Current condition of implementing 5S within your company</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Implemented in the entire company</li> <li>2. Partially implemented</li> <li>3. Considering implementing</li> <li>4. No plan to implement at this time</li> </ol>
<p>10. Your expectations of the program in relation to the described problems</p>	